

高病原性

鳥インフルエンザ

引き続き最大限の警戒を！！

！ 農場の発生予防対策を徹底しましょう

- ・ 飼養衛生管理基準の遵守状況を点検し、不備があれば改善
- ・ 農場従業員や外部事業者等を含め、専用の衣服や長靴の着用、消毒等の衛生対策を徹底
- ・ 家きん舎の隙間の常々点検し、遅滞なく修繕



！ 異状の早期発見・早期通報を徹底しましょう

- ・ 以下の異状を認めた場合は、最寄りの家畜保健衛生所に相談ください。

- ① 同一の家きん舎内において、1日の家きんの死亡率が過去3週間における平均の家きんの死亡率の2倍以上となっている
- ② 5羽以上の家きんが、まとまって死亡している又はまとまってうずくまっている

- ・ 上記以外であっても、通常時と異なる状態であると感じた場合は、他の疾病を疑う場合でも最寄りの家畜保健衛生所に相談しましょう。

※ 通報の遅延は、地域における本病のまん延リスクを高めるだけでなく、殺処分された家きんに対する手当金が減額となる場合があります。

高病原性鳥インフルエンザ

発生予防のポイント

01

農場に入る全ての 人・車両・物品は衛生対策

作業員や外部事業者等を含め、衛生管理区域と家きん舎に入る人は衛生対策を徹底。車両も入場前の洗浄・消毒を必ず実施。物品は原則農場専用。やむを得ず持ち込む場合は洗浄・消毒を忘れない。



周囲にはウイルスがあると認識。
農場内・家きん舎内には入れない。



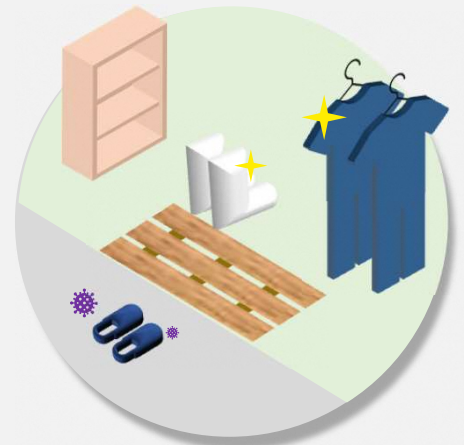
02

衛生管理区域・家きん舎ごとに 専用の長靴を着用

農場に入るとき、家きん舎に入るときは、必ず衛生的な長靴に交換。農場内では専用の衣服を着用。



着替え・履き替えの前後で
交差しないよう境界を明確に。



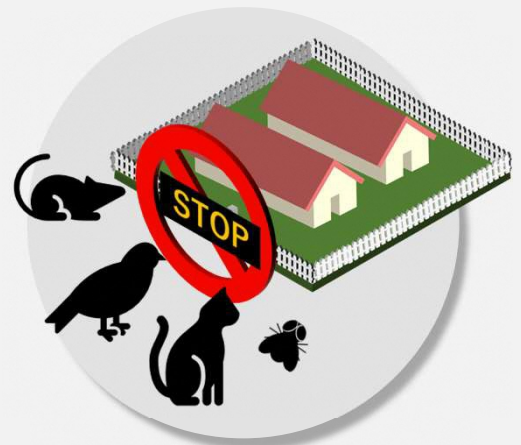
03

ウイルスを媒介する 野生動物の侵入防止対策

家きん舎は定期点検し、防鳥ネットや壁等の破損などはすぐに修繕。目の届きにくい屋根裏や入気口も注意が必要。



「農場に近寄らせない」
「農場内に入れない」
「ネズミ・ハエ等の定期的な駆除」



農場付近の水場は水抜き、忌避テープの設置等により、野鳥を寄せ付けない工夫を。



長靴は洗浄してから消毒の徹底。消毒薬は定期的、または汚れた都度交換。

農場の

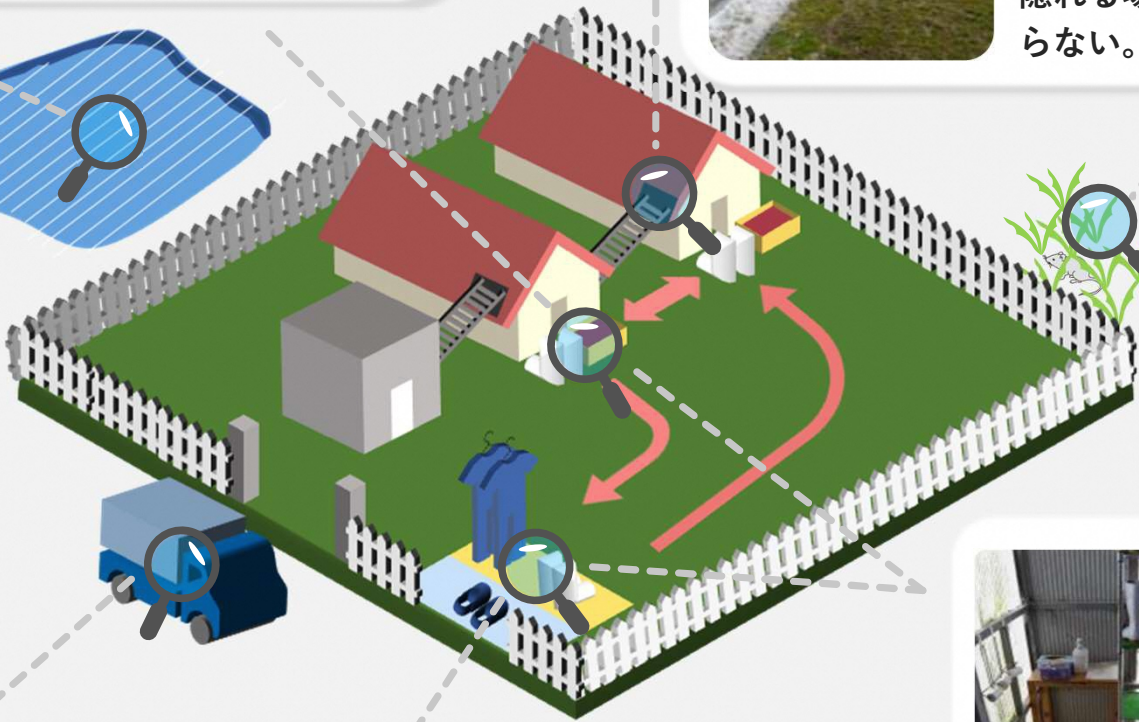
重点対策



集卵コンベアなどの開口部の隙間を塞ぐ。普段目の届きにくい屋根裏や入気口も点検し、破損があれば補修。



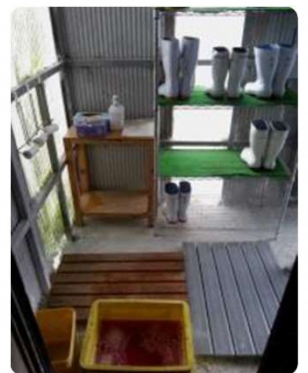
農場辺縁を含め敷地内の草刈りや枝の剪定を行い、野生動物が隠れる場所を作らない。



車両の消毒の徹底。車体、タイヤ周りや溝の汚れをしっかりと落とす。



洗浄・消毒された衛生的な衣服や長靴を用意。



着替え、履き替えの前後で動線が交差しないよう境界を明確に。

— 例外を作らずに必ず実施することが大切です。 —